

ファッション
One Point
アドバイス

雨の季節の レインブーツ

6月5日から20日頃までを二十四節気では「芒種」といいます。稲や麦など穂をつける植物の種をまく時期で、この辺りから雨空が増えてきます。この時期の「末候(6/16~6/20頃)」は、「梅子黄」と書いて「うめのみきばむ」と読み、文字通り梅の実が黄色く色づいて熟する頃の意味。この頃に長雨が続きため、「梅雨」という言葉が生まれました。雨が続き芒種のこの時期、皆さんはレインブーツやレインコートが気になりませんか。



mat

最近のレインブーツのトレンドは、中途半端な丈ではなく、ショートかロングかのどちらかです。人気は何と言っても、ラバーブーツの老舗「ハンター」と「エーグル」でしょう。機能性、デザインともに申し分のないレインブーツ。定番中の定番です。

こちらの二大ブランドのレインブーツは、物によっては革靴以上の価格のものもあり、タウンユースだけでなく、キャンプや音楽フェスなどアウトドアのアクティビティーでも十分に使える優れもの。コーディネートが広がり、お洒落さをアピールできる一品です。一生ものという気持ちで購入すると良いでしょう。

絵画の中の洗濯風景

巨大洗濯場ドービー・ガート



Copyright Alex Hiemstra

インドの商業都市ムンバイには、世界最大の洗濯場といわれるドービー・ガートという施設があります。「街中の洗濯物が集まる」とまで言われるほどの大きな敷地で、入口以外は高い塀で覆われており、観光地にもなっています。

敷地内には、ムンバイのホテルや病院のリネンなどを洗濯して生計を立てているドービーと呼ばれる人たちがいます。洗濯物を振り回し、コンクリートや石に打ち付ける方法で、乾燥後に宅配も行うということです。一般家庭からの洗濯依頼もあります。2010年には、この洗濯場を舞台にした『ムンバイ・ダイアリーズ』という映画も制作され、世界で高い評価を受けました。

暮らし応援ニューズレター

HomeDry News

ホームドライニュース No. 103



ファッション・ワンポイント: 雨の季節のレインブーツ
絵画の中の洗濯風景: 巨大洗濯場ドービー・ガート
衣類のケア講座: クローゼットの湿気・カビ、悪臭対策に除湿!
衣生活の知恵: 合成皮革製品はクリーニング後1晩置く

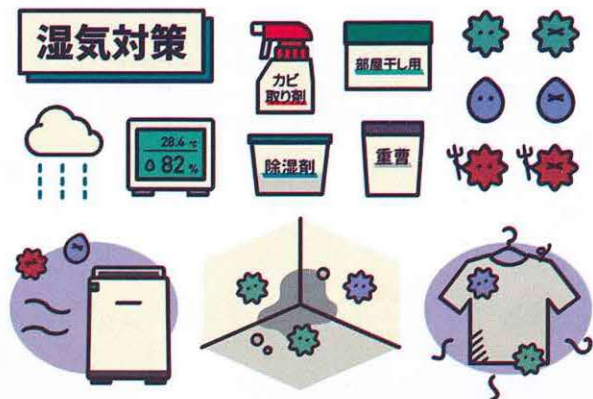
まごころクリーニング
ホームドライ ホームドライ



衣類のケア講座

クローゼットの湿気 カビ、悪臭対策に除湿！

冬物衣類を収納するころに、季節は湿気が高くなってきます。居室のエアコンはできてもクローゼットには、湿気が溜まりがちになり、カビや悪臭の原因になりがちです。そこで、賢い除湿を考えましょう。



●クローゼット内に空気の流れを作る

クローゼット内をギュウギュウ詰めにしてしまうと、空気中の湿気が抜けられなくなってしまいます。特に、綿、ウール、シルクなどの天然繊維は、乾いているように見えても多くの水分を吸収しています。収納中に天然繊維素材

の衣類から湿気が発散されますから、空気の通り道を作ってあげなければなりません。

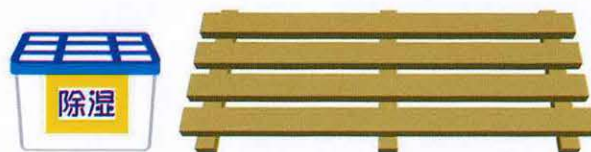
ハンガーに掛けたものは軽く接触する程度にかけ、畳んだものはふんわりと重ねて詰め込みすぎないように配慮しましょう。

●湿気は上から下に降りていきます

湿気は乾いた空気よりも重たいので、クローゼットの上部よりも下部に集まってきます。ですから上部だけに除湿剤を掛けておくだけでは、十分な効果を発揮することになりません。

下に置くタイプの除湿剤を必ず利用するようにしましょう。また、クローゼットや押し入れの下部にスノコを敷いておくと重たい湿気を逃がす空気の通り道ができます。

防虫剤を利用する場合は、防虫効果のあるガスは空気よりも重たいので、ハンガーバーに掛けるなど上部に設置するようにしましょう。



●天然繊維素材の衣類は上部に保管する

特に冬物の綿のバーバリーコートなどにカビが発生しているケースが見受けられます。

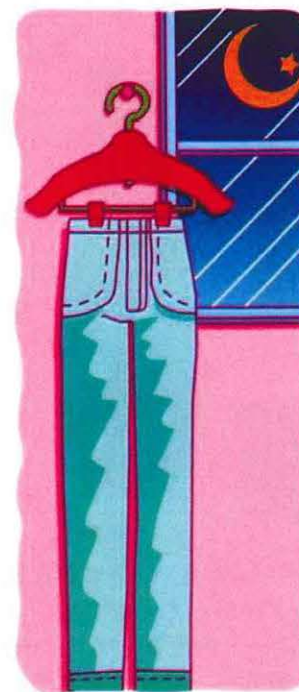
先にも述べましたように、天然繊維は、一定の水分を含んでいますので湿気が抜けにくく、カビや悪臭が発生しがちですから、重ねて収納する時には上部に置くようにしてください。

●乾燥した日には新鮮な空気に入れ替え

晴れて乾燥している日には、クローゼットをオープンして、新鮮な空気に入れ替えましょう。扇風機などを利用すると効果的です。



合成皮革製品は クリーニング後1晩置く



合成皮革のスカートやパンツなど、直接肌に触れる衣料品は、クリーニングから返ったら、すぐに包装してあるポリ袋から取り出し、風通しの良い場所に一晩つるしておいてから、着用なさることをお勧めします。

合成皮革は、一般の織物や編物と異なり、スポンジのような樹脂による厚い層によって作られています。このため、ドライクリーニングに使用している溶剤を、

大量に吸収する性質を持っています。また、熱に弱いので高熱による強制乾燥ができません。

クリーニング工場では、それでも十分な乾燥を行うよう努めています。でも念のために、ポリ袋から取り出し、裏返して一晩吊るしておくということを、衣生活の新しい習慣にしてください。